

特攻兵の生

連作和歌 百首歌集

2009/7/21-2010/3/23

8601	ミズーリ号に体当たりせし19歳特攻兵の生思う旅	茉莉花	7月21日 17時44分
8602	艦さけた チェンジアップ こそが尊し 勇者の海を しずかにたたえる。	真	7月21日 23時59分
8603	くり返し殺戮するな性悲し愚かなことを巨大にしつつ	重陽	7月23日 05時08分
8604	戦いは悲惨残酷限りなしされど活劇好む人類	弁慶	7月23日 10時30分
8605	母の名を呼びし人びと無念なり声なき声を蟬の鳴く声	くりおね	7月25日 04時58分
8606	いくさとはいのちの安売りなのだから その一瞬をおもうわたくし。	真	7月26日 01時01分
8607	くきやかに口紅をぬり眉を描く気だるき朝の我へのいくさ	たまこ	8月1日 06時22分
8608	十和田湖や妻若き頃の写真あり眼差し遠く紅き唇	弁慶	8月3日 12時08分
8609	青春は屈折時代黒髪の子が面影今も離れず	やんま	8月4日 06時27分
8610	青春は永久革命バラを抱き若しやもしやと生き抜いてきた	真奈	8月6日 23時37分
8611	啄木の生家を訪ねて渋民の駅に降り立ちし青春の日よ	弁慶	8月8日 03時26分
8612	青春はシュトルム・ヘッセ・プーシキン そして啄木「初恋」の歌	茉莉花	8月8日 09時59分
8613	あの小屋に雑魚寝の記憶蘇える大雪山の遭難を聞き	重陽	8月9日 05時14分

8614	富士登山八合目にて仮眠取る「日の出だ」の声にパッと目覚めり	弁慶	8月11日 23時33分
8615	初めてのロッククライミング剣岳足ふみ外し宙吊りにヒヤッ	真奈	8月11日 23時42分
8616	宙吊りてヒンヤリぬける 喜界かな 何に憑くのか 物の怪の我	真	8月17日 14時34分
8617	風鈴を吊るせばたちまち風を呼び思ひ出を呼び故郷の家	たまこ	8月24日 06時10分
8618	学び舎の憂いの片に思い出す楡の大樹の北の八月	重陽	8月26日 08時41分
8619	北の国エルムの並木歩きつつ北大予科の寮歌を歌う	弁慶	9月1日 07時26分
8620	ひゆるると礼文の風の耳に鳴るうすゆき草は白くたをやか	真奈	9月2日 11時42分
8621	天涯に風の穴あり鬼やんまつと消えたるにつとまた出ずる	やんま	9月3日 05時35分
8622	鬼ヤンマ楡の並木を行き来してロンドンパリを一にらみする	弁慶	9月3日 23時24分
8623	極東のモンゴロイドの島国のわれらは誇り高くありたし	重陽	9月4日 17時40分
8624	アフリカの子より届きしフォト見つめはにかむやうな笑顔と裸足	ミヌ	9月8日 20時53分
8625	国定の後期と糺す高齢の引導なるか被保険者証	重陽	9月9日 08時21分
8626	めでたくも陽の重なる秋の日に酒酌みかはす翁あるらむ	丹仙	9月9日 19時33分
8627	酒盃には菊の花びら遊ばせて重九の君のつつがなき哉	真奈	9月9日 22時52分
8628	重九によせ賜はりし祝言に心うれしく仰ぐ秋天	重陽	9月10日 09時15分
8629	ヨブのごと生きたしという汝（なれ）の聲あらためて聴くその「いのちの歌」を	米塚歌行 品集刊行	9月11日 10時08分
8630	「癩により始めて生き得た私を選びし神は讃むべきかな」と噫！	米塚歌行 一作品集刊行 吉本	9月11日 21時02分
8631	生業は天与の如く挑みきて今は安けく老いを成したし	重陽	9月14日 07時20分

8632	水平に 烏帽子の岩が 茅ヶ崎で 冠る者おば 待ちつるのかな	真	9月19日 13時32分
8633	東見れば烏帽子岩見ゆ大磯の唐土ヶ原に撫子の花	弁慶	9月20日 18時44分
8634	仰ぎ見し破風の向こうに煌々とききに雲間によべの月かな	重陽	10月4日 09時59分
8635	野分過ぎ眠らぬ都会（まち）に電飾の大観覧車またくるくと	真奈	10月10日 00時06分
8636	天を覆う総ての雲を引き連れて野分は向かうオホーツクの海	弁慶	10月10日 22時36分
8637	冬来なば見にぞゆかんか啄木が詠ひし釧路の氷の海を	たまこ	10月16日 10時26分
8638	雪虫がことに多しと便りあり字面に想う北の寒さを	重陽	10月25日 14時17分
8639	紅葉の然別湖の夕闇に独り佇み降る雪を見る	弁慶	10月25日 15時23分
8640	故郷に降りつむ雪が月光に青かりしこと一五の記憶	たまこ	11月1日 09時34分
8641	故郷は父母が居て妹が居て私に遠き雲の果てなり	やんま	11月2日 08時26分
8642	峠にて彼方を見れば煙立つ祖父母の住みし山間の村	弁慶	11月3日 05時48分
8643	強意地に老いたなどとは口にせず暫し無言でスナップ写真を撮	重陽	11月3日 17時07分
8644	偏屈と言われながらも自身では青春の空駆けいるつもり	やんま	11月3日 17時16分
8645	青きから夢を追い来て老春の今に尊きものは友なり	重陽	11月3日 17時35分
8646	友と見る十和田の紅葉美しく発荷峠に人群れにけり	弁慶	11月5日 23時49分
8647	ななかまどを濡らして時雨のふりすぎて十和田湖に小さき虹かかりたり	たまこ	11月16日 22時36分
8648	初雪に紅き実房のななかまど描けねどしかと思ひ出の中	重陽	11月18日 04時36分
8649	置く霜に実の紅色の映えにけり伊豆の山中山伏峠	弁慶	11月20日 00時38分

8650	故郷には雪ふるころと濁り酒飲みつつ幼き日を語りあふ	たまこ	11月22日 06時56分
8651	故郷は無し東京の冬空にトラウマとなる火の粉の乱舞	やんま	12月3日 10時43分
8652	啄木の故郷岩手の洪民の駅に舞い込む初雪を見る	弁慶	12月3日 13時51分
8653	歳暮とて“瀬祭”という酒がきて子規の忌日を歳時記に見る	重陽	12月5日 05時37分
8654	嫁しし娘（こ）の冷蔵庫の隅の「ホッとお酒」湯割りに飲みつつ泣けてくるなり	たまこ	12月13日 12時22分
8655	美辞麗句巧みな人の心根の貧しきに触れ泣けてくるなり	茉莉花	12月18日 11時33分
8656	古の聖人曰く世の人の巧言令色少なし仁と	弁慶	12月18日 22時54分
8657	めくるめく冬至の朝の昇る陽にわがひと年の幸を謝すなり	重陽	12月22日 18時47分
8658	やみ分けて 赤がみどりに 映りゆく 冬にぞめげね ポインセチアと	真	12月27日 00時14分
8659	供へられしトルコ桔梗が揺れてをり恩師の墓に参り来たれば	たまこ	12月27日 09時05分
8660	トルコ石 1 2月生まれの誕生石やわらかなブルー君のセーター	弁慶	12月27日 15時20分
8661	大風が大つごもりの戸をたたき目覚めて早よう脚下を看よと	重陽	12月31日 08時09分
8662	ももすもも筑波の道を拓きしは末広がりの平成の歳	丹仙	1月1日 16時54分
8663	ももすもも花咲く甲斐の酒折の宮に始まる筑波の道かな	弁慶	1月1日 20時14分
8664	吹き晴れて海見ゆる日の麗しきウィンフィル佳き駅伝もまた	真奈	1月3日 11時56分
8665	野の末に父無し母無し雲も無しあつけらかんと青い空だよ	やんま	1月3日 20時00分
8666	空晴れて彼方に富士の見える日よ湘南海岸箱根駅伝	弁慶	1月4日 01時02分
8667	年来の釣友逝くの報せあり虚しきことよ冬の富士山 合掌	重陽	1月10日 05時55分

8668	共生の座にてこそ往く人もまた還り来れる歌の道なれ	丹仙	1月16日 15時57分
8669	路地の道しろく浮かべり初雪のつかのま降りて真夜にやみたり	れん	1月16日 23時45分
8670	寒と暖とみに激しきこの冬は彼岸まではと春を待つなり	重陽	1月23日 05時33分
8671	暖かな風が吹く日の北の空紅梅の彼方に富士の雪みゆ	弁慶	1月27日 19時11分
8672	親と子の病みて重たき春の雪一つ傘にてとぼとぼ歩く	やんま	2月5日 09時47分
8673	紙パンツを初めて母にはかす夜の風音さむし明日は雪か	たまこ	2月5日 23時14分
8674	聖母なるそのまなざしの強きこと大地に生れし幼子を抱く (和田三造展を見て)	丹仙	2月8日 22時10分
8675	五羽の鳩オリーブの枝に安らげるそは五大陸より飛び来ると (和田三造画集「イエスの一生」より)	真奈	2月9日 13時27分
8676	カメラの目見えれど消える気配かな だからと託す ことの羽のある	真	2月9日 17時20分
8677	眼の前の有(う)をあらしむる言葉(ことのは)は無より来たりて我が時となる	丹仙	2月13日 08時16分
8678	言い訳はしたくはないが傷つけてあるのであれば誤解を解かむ	たまこ	2月13日 14時13分
8679	総てだという言い訳が滔々と更に不審は深まるばかり	重陽	2月15日 17時31分
8680	悔いなしと言い切る言葉爽やかに世評を越ゆる若者と見ゆ	丹仙	2月18日 21時33分
8681	ころべども`道'の哀調 いや増しつ 振りをなぞらぬ 演技 見習う	真	2月20日 01時45分
8682	氷上はしろき曠野か雲上か眠りよりさめて鶴は舞いたつ	道	2月24日 17時03分
8684	鶴の群ヒマラヤ山脈越えんとすゴビの砂漠に春の訪れ	弁慶	2月27日 23時09分
8685	たからかに春をたたえてオリオンの片足すでに山の端にあり	かわせみ	2月28日 12時19分
8686	英国の古式ゆかしきドクトルの学位授与式母の眼で見る (K君へ)	丹仙	2月28日 22時51分

8687	母われに捧げくれたる勲章ぞ黒きガウンの息子の後姿は	道	3月1日 06時49分
8688	フィナーレに沸くバンクーバー オーロラに出合いし帰路の空港の灯よ	重陽	3月2日 06時11分
8689	初旅の思い出の地のバンクーバーかの気質など親しみ覚ゆ	やんま	3月3日 08時12分
8683	舞ひあがり気流にのりて鶴（たづ）の群嶺越ゆるとき光の微塵	かわせみ	2月25日 11時10分
8690	ミモザ馨る今日は国際婦人デー 子ども手当もやっと決まって	真奈	3月8日 23時09分
8691	千年の土に還りぬ大公孫樹どうと倒れん三月の日に	重陽	3月11日 10時20分
8692	樹木医の槌とんとんと老木の五臓六腑と対話すること	水	3月11日 13時44分
8693	天地のあわいに立ちて悠久の鎌倉大公孫樹の終焉かなしも	道	3月12日 10時06分
8694	八幡の公孫樹に宿る神あれば命つながん祈り叶えよ	重陽	3月13日 17時55分
8695	そのかみの公暁隠れし大銀杏心なき風に倒れて哀し	弁慶	3月20日 14時49分
8696	共生（きょうしょう）の道（ことば）を信じ歩む身はもとの誓ひの姿なりけり	丹仙	3月20日 21時13分
8697	パスカルの賭けの言葉の甦るデーケン師言ふ死生学のなか	れん	3月21日 10時55分
8698	横臥して涅槃のごとき老木に孫（ひこ）生ゆるらむ春の陽あびて	水	3月21日 12時39分
8699	唯物論と矛盾しないか不思議がられ祖母の形見の数珠は離さじ	真奈	3月22日 09時56分
8700	我娘(あこ) のためお守りもとむ友ありてキリスト者なれど感謝して受く	丹仙	3月23日 13時21分